

---

# IS インフィニット・ストラトス 転生者

弓兵

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

IS インフィニット・ストラトス 転生者

### 【Nコード】

N1688Z

### 【作者名】

弓兵

### 【あらすじ】

Fateのアーチャーを憧れてた少年衛宮 碧樹  
Fateの世界に転生したかったけどISの世界に転生だ  
まあ神から脅しじゃなくて貰った力で頑張っていく

## 第一話 プロローグ

転生ってあり得ない

行くならF a t eに行きたいアーチャーにあこがれているので会いたい

そう思っていた16歳の少年

名前は衛宮 碧樹そいつぎ

だけど行く世界はISだと  
まあしかたないでも神を脅してもじゃないよ 話をしただけだ

その後力もらいました見た目がアーチャーばくしてもらった力もアーチャーので  
設定を決めました

名前 衛宮 碧樹

身長 174cm 始まりのときまだ伸びるけど

髪の色 白 見た目は衛宮 士郎  
設定は

家族は他界している  
家はf a t eの衛宮の家に近い

織斑一夏とは友だちだったが  
家族の他界がきっかけに引っ越したため一夏は忘れている

始まり 中学3年の受験のとき  
そういう設定を立てた

神はやれやれという顔をしていたけどな

まあせっかく転生するならそれぐらい許してくれるよね

神「じゃあいつてらっしや〜〜〜〜い」

足元が抜けた

「ぎゃあああああああああああ」

で今どこにいるんだろう

うん家だ

すごい完全に再現しているな

何か置いてある

藍越学園受験票

まあしかたない行くか

多目的ホールに到着した  
場所がわからないな案内板を見たけど

受験会場は2階らしいのだが案内板が意味不明だ

つまり読めない。

この建物、見た目は前傾的なデザインだが、案内板すらも奇抜なデザインなのはやりすぎである。

初めてここに来た人は手探りでないと目的地までたどり着けない。はっこれはヤバイ気がする逃げようと思っていたが話しかけてきた

「君も藍越の受験生？」

「一応な。君も？」

ヤバイこいつは織斑一夏だ

「俺は織斑一夏っていうんだ。君は」

「衛宮 碧樹よろしくな」

「それより織斑君は、受験会場分かるか」

「いや。でも任せてくれ」

不安だまあついていこう

「……現在地はどこだ？」

やっぱり迷いやがった逃げるか

「次に見つけたドアを入れてみよう。それで何とかなる・・・はず」

「俺はあっち行くから」

「待てよ。ここまできたなら最後までついてこいよ」

腕を掴まれ無理やり部屋に入らされた

部屋に入ると、薄暗い部屋の真ん中に鎧が鎮座してある。

「あれはISか」

「そうじゃないかなたしか『打鉄<sup>うちがね</sup>』だっけ」

まあ興味ないけどな

一夏が惹かれるように打鉄に近づき、触れた。

「これ、分かる」

「ISってこういうものなんだ」

ボンヤリと呟く一夏の触れた打鉄が金属音を鳴らして反応する

まあこのイベント見れたからよかったかな  
天井のちかくまでジャンプし隠れる

ドアが開いて数人の女性が部屋に入ってきた。

「こらっ！　そこで何をしている！」

「あっ・・・」

女性の怒鳴り声に驚いた一夏が打鉄から手を離すと、それまでの反応が嘘のように打鉄は元の置物ののように静かになった。

危なかったきずかれそうだったけどあいつが犠牲になったのだ

あいつ連れて行かれたけどまあ気にしない

そして誰もいなくなった

打鉄にまあ触れても誰も文句言わないよね

うん動く逃げよう

家まで帰ってきた俺

土蔵の中を見てみるとISがおいてあった

動くけどなまあいまは待機形態にしておく形はヘッドホン型だ

その数日後

なぜかIS学園の奴が来たんだけど

なんですかって打鉄うごかしてたのばっちり映ってたんだよ

はあまあ条件付きで

俺のことは世間に発表しない  
学園に入るが学園側は俺に極力関与しない  
あともろもろで

ああめんどくさい



## 第一話 プロローグ（後書き）

初めて書いたのでおかしい文章かもしれないけど  
よんでいただければ嬉しいです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1688z/>

---

IS インフィニット・ストラトス 転生者

2011年12月5日23時45分発行